

モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド (為替ヘッジあり)

運用報告書(全体版)

第1期(決算日2021年3月8日)

作成対象期間(2020年2月28日~2021年3月8日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/株式	
信託期間	2020年2月28日から2030年3月6日までです。	
運用方針	モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、世界各国(新興国を含みます。)の株式(DR(預託証券)を含みます。)を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。 実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジ(先進国通貨等による代替ヘッジを含みます。)により為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。ただし、代替ヘッジによっても為替変動リスクの低減の効果が小さいあるいは得られないと判断した通貨については、為替ヘッジを行わない場合があります。	
主な投資対象	モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド (為替ヘッジあり)	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	世界各国(新興国を含みます。)の株式(DR(預託証券)を含みます。)を主要投資対象とします。
主な投資制限	モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド (為替ヘッジあり)	株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等から、配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時~午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価 額			株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 騰 落 中 率			
(設定日) 2020年2月28日	円 10,000	円 —	—	% —	% —	% —	百万円 576
1期(2021年3月8日)	11,841	160	20.0	100.8	—	—	13,811

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	式 率
		騰 落	率			
(設定日) 2020年2月28日	円 10,000	—	% —	% —	% —	% —
3月末	9,606	△ 3.9	94.6	—	—	—
4月末	10,524	5.2	94.9	—	—	—
5月末	10,760	7.6	93.6	—	—	—
6月末	10,881	8.8	94.7	—	—	—
7月末	11,480	14.8	93.4	—	—	—
8月末	11,928	19.3	94.9	—	—	—
9月末	11,545	15.5	91.8	—	—	—
10月末	11,093	10.9	93.9	—	—	—
11月末	11,791	17.9	95.1	—	—	—
12月末	12,086	20.9	95.4	—	—	—
2021年1月末	12,018	20.2	97.1	—	—	—
2月末	11,960	19.6	98.6	—	—	—
(期 末) 2021年3月8日	12,001	20.0	100.8	—	—	—

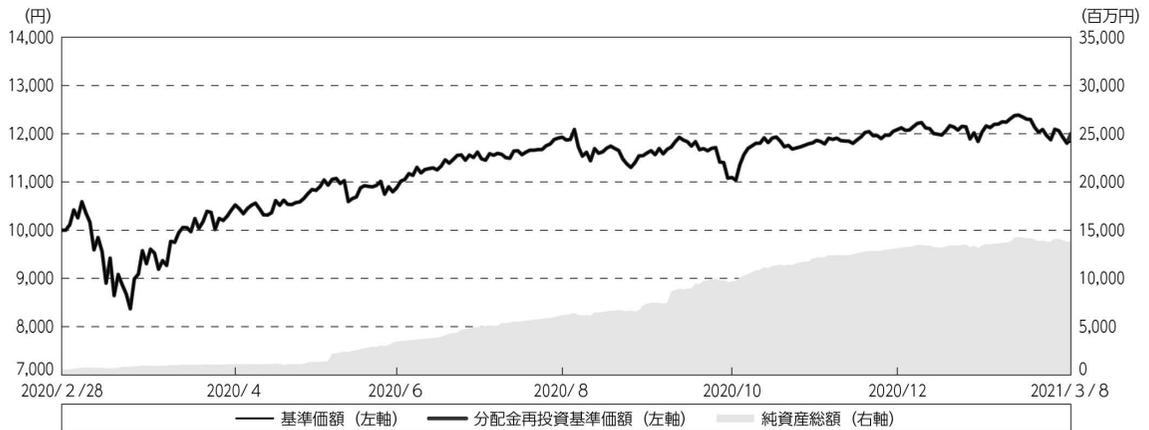
*期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定日比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



設定日：10,000円

期末：11,841円（既払分配金（税込み）：160円）

騰落率：20.0%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、設定時10,000円から期末11,841円となりました。

(上昇)

- ・2020年4月、FRB（米連邦準備制度理事会）の緊急資金供給策が発表されたこと、世界各国で経済活動再開への動きが広がったこと。
- ・11月、米大統領選挙で民主党のバイデン候補が優勢となる一方、議会選では共和党が上院で過半数を維持する見通しとなり、民主党が掲げる規制強化への懸念が和らいだこと、米大手製薬会社が新型コロナウイルスワクチンの臨床試験で高い有効性を発表したこと、イングランド銀行（中央銀行）による量的緩和拡大の発表が好感されたこと、ECB（欧州中央銀行）による追加金融緩和が期待されたこと、トランプ米大統領がバイデン氏への政権移行業務の実施を容認したこと、欧州一部地域で新型コロナウイルス対策について緩和の動きが見られたこと。

（下落）

- ・2020年3月、新型コロナウイルスが世界的に感染拡大したこと、OPEC（石油輸出国機構）とロシアなど非加盟産油国の減産交渉決裂を受け原油価格が急落したこと。
- ・10月、米追加経済対策を巡る与野党合意への期待が後退したこと、欧州で新型コロナウイルスの新規感染者数が急増したこと、英国とEU（欧州連合）の通商交渉が難航したこと、新型コロナウイルスの感染再拡大を受け経済活動を再規制する動きが広まったこと、米追加経済対策の早期成立が遠のいたこと。

○投資環境

期中の世界株式市場は、新型コロナウイルスの感染拡大や各国の金融・財政政策の行方、米国の大統領選挙の行方などに左右される展開となりましたが、期を通じて上昇となりました。為替市場では、円は米ドルに対して上昇（円高）、ユーロに対して下落（円安）となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

[モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド]

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- （1）組入銘柄の選定にあたっては、個別企業の調査・分析等に基づいたボトムアップアプローチにより、企業の質（高い投下資本利益率、財務健全性、経営陣の経営能力および高いブランド力や強固な販売網等の無形資産に基づく競争優位性等）、ESG[※]の観点等を勘案し、持続的な利益成長が期待できる銘柄を選定します。
※ESGとは、Environment（環境）、Social（社会）及びCorporate Governance（企業統治）の総称です。
- （2）ポートフォリオの構築にあたっては、時価総額および流動性が高い大型銘柄を中心とすることを基本とします。
- （3）設定後のポートフォリオ構築においては、マイクロソフト、レキットベンキナー・グループなどの株式を組み入れました。その後は、米国のオンライン取引所、工具メーカーなどの株式を新規購入しました。

[モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド（為替ヘッジあり）]

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じておおむね高位を維持しました。

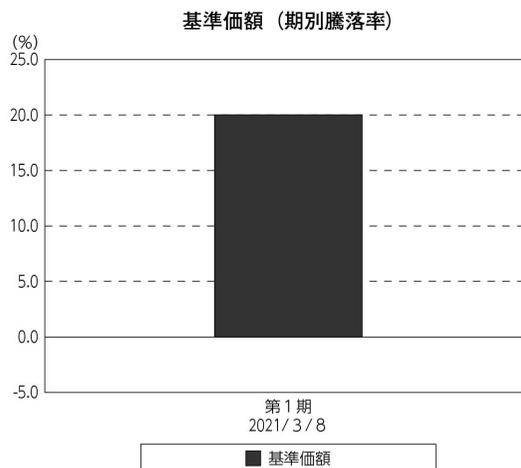
・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質外貨建て資産に対して対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

収益分配金については、基準価額水準などを勘案し、1万口当たり160円の分配を行いました。

なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第1期
	2020年2月28日～ 2021年3月8日
当期分配金	160
(対基準価額比率)	1.333%
当期の収益	160
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,840

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

[モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド]

当ファンドは、強力な無形資産や価格決定力、高い利益率を裏付けに企業価値を持続的に拡大することが期待される銘柄（＝高クオリティ企業）に集中投資を行ないます。高クオリティ企業への投資を行なうために、「ESG（環境・社会・企業統治）インテグレーション^{※1}」「エンゲージメント^{※2}・議決権行使」を運用プロセスに組み入れています。さらに、「ネガティブ・スクリーニング^{※3}」を加え、よりESG問題に配慮しつつ優れたパフォーマンス獲得を目指して、運用を行なっております。

※1 投資判断の中に、財務情報だけではなく、ESG情報といった非財務情報を織り込むこと。

※2 企業価値の持続的な成長の促進や企業価値を持続的に成長できるか判断するために、企業が抱える課題やその対策方法について、経営陣や社外取締役と建設的な対話を行うこと。

※3 特定のセクターを除外すること。

2020年以降はバリュエーション（投資価値評価）が割高な銘柄が上昇を牽引したこともあり、MSCIワールド指数の予想利益に基づく足元のPER（株価収益率）は20年前のITバブル期以来の高水準に達しましたが、この状況が続く可能性は低いと想定されます。しかし、高クオリティ企業は、価格決定力と継続的な売上により利益が安定しているため、今後想定される不安定な相場環境においても「安全な保険」のような特性を提供できると考えています。

[モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド（為替ヘッジあり）]

主要投資対象である[モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしく願いいたします。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2020年2月28日～2021年3月8日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	円 221 (126) (88) (6)	% 1.972 (1.127) (0.789) (0.056)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等 ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	2 (2)	0.021 (0.021)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	12 (12)	0.109 (0.109)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	3 (3) (0) (0)	0.027 (0.024) (0.004) (0.000)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	238	2.129	
期中の平均基準価額は、11,205円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

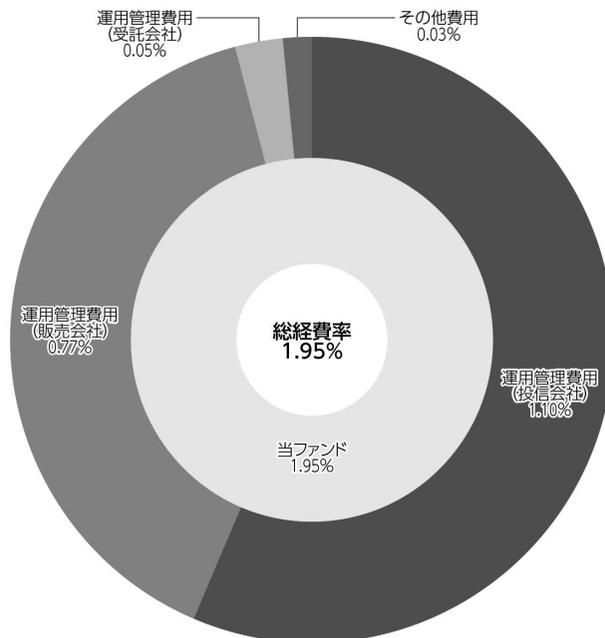
* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.95%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2020年2月28日～2021年3月8日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド	13,393,552	15,168,800	1,941,514	2,266,602

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

（2020年2月28日～2021年3月8日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	26,924,041千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	13,446,542千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.00

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

（2020年2月28日～2021年3月8日）

利害関係人との取引状況

<モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド（為替ヘッジあり）>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	B/A		うち利害関係人との取引状況 D	D/C	
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替先物取引	21,760	39	0.2	35,129	751	2.1

<モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	B/A		うち利害関係人との取引状況 D	D/C	
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引	30,217	886	2.9	8,369	—	—

平均保有割合 51.1%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2021年3月8日現在)

親投資信託残高

銘	柄	当 期 末	
		口 数	評 価 額
		千口	千円
モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド		11,452,037	14,252,061

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2021年3月8日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド	14,252,061	96.8
コール・ローン等、その他	470,614	3.2
投資信託財産総額	14,722,675	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（24,989,828千円）の投資信託財産総額（25,580,542千円）に対する比率は97.7%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=108.37円、1カナダドル=85.82円、1英ポンド=150.20円、1ユーロ=129.29円、1香港ドル=13.96円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2021年3月8日現在）

○損益の状況（2020年2月28日～2021年3月8日）

項目	当期末
	円
(A) 資産	28,078,452,378
コール・ローン等	137,754,491
モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド(評価額)	14,252,061,095
未収入金	13,688,636,792
(B) 負債	14,267,441,813
未払金	13,873,267,971
未払収益分配金	186,624,054
未払解約金	97,378,655
未払信託報酬	109,979,839
未払利息	51
その他未払費用	191,243
(C) 純資産総額(A-B)	13,811,010,565
元本	11,664,003,394
次期繰越損益金	2,147,007,171
(D) 受益権総口数	11,664,003,394口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,841円

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	△ 18,988
受取利息	36
支払利息	△ 19,024
(B) 有価証券売買損益	770,439,040
売買益	1,530,940,468
売買損	△ 760,501,428
(C) 信託報酬等	△ 133,175,824
(D) 当期損益金(A+B+C)	637,244,228
(E) 追加信託差損益金	1,696,386,997
(配当等相当額)	(△ 26,806)
(売買損益相当額)	(1,696,413,803)
(F) 計(D+E)	2,333,631,225
(G) 収益分配金	△ 186,624,054
次期繰越損益金(F+G)	2,147,007,171
追加信託差損益金	1,696,386,997
(配当等相当額)	(12,799,794)
(売買損益相当額)	(1,683,587,203)
分配準備積立金	450,620,174

(注) 期首元本額は576,931,148円、期中追加設定元本額は12,615,289,746円、期中一部解約元本額は1,528,217,500円、1口当たり純資産額は1,1841円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額89,289,485円。(モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド)

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2020年2月28日～2021年3月8日)は以下の通りです。

項目	当期
	2020年2月28日～ 2021年3月8日
a. 配当等収益(経費控除後)	54,302,960円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	582,941,268円
c. 信託約款に定める収益調整金	1,696,386,997円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	0円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	2,333,631,225円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	2,000円
g. 分配金	186,624,054円
h. 分配金(1万口当たり)	160円

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	160円
-----------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド

運用報告書

第1期（決算日2021年3月8日）

作成対象期間（2020年2月28日～2021年3月8日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	世界各国（新興国を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。 組入銘柄の選定にあたっては、個別企業の調査・分析等に基づいたボトムアップアプローチにより、企業の質（高い投下資本利益率、財務健全性、経営陣の経営能力および高いブランド力や強固な販売網等の無形資産に基づく競争優位性等）、ESG*の観点等を勘案し、持続的な利益成長が期待できる銘柄を選定します。 ※ESGとは、Environment（環境）、Social（社会）及びCorporate Governance（企業統治）の総称です。 外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	世界各国（新興国を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 総 資 産 額
		騰 落	中 率			
(設定日) 2020年2月28日	円 10,000		% —	% —	% —	百万円 2,959
1期(2021年3月8日)	12,445		24.5	97.7	—	24,990

*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落	率		
(設定日) 2020年2月28日	円 10,000		% —	% —	% —
3月末	9,406	△	5.9	95.5	—
4月末	10,192		1.9	96.8	—
5月末	10,521		5.2	93.8	—
6月末	10,753		7.5	95.5	—
7月末	11,229		12.3	95.3	—
8月末	11,810		18.1	96.1	—
9月末	11,424		14.2	93.1	—
10月末	10,875		8.8	95.9	—
11月末	11,607		16.1	96.5	—
12月末	11,937		19.4	96.3	—
2021年1月末	12,003		20.0	96.8	—
2月末	12,196		22.0	96.8	—
(期 末) 2021年3月8日	12,445		24.5	97.7	—

*騰落率は設定日比です。

*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

基準価額は、設定時10,000円から期末12,445円となりました。

(上昇)

- ・ 2020年4月、FRB（米連邦準備制度理事会）の緊急資金供給策が発表されたこと、世界各国で経済活動再開への動きが広がったこと。
- ・ 11月、米大統領選挙で民主党のバイデン候補が優勢となる一方、議会選では共和党が上院で過半数を維持する見通しとなり、民主党が掲げる規制強化への懸念が和らいだこと、米大手製薬会社が新型コロナウイルスワクチンの臨床試験で高い有効性を発表したこと、イングランド銀行（中央銀行）による量的緩和拡大の発表が好感されたこと、ECB（欧州中央銀行）による追加金融緩和が期待されたこと、トランプ米大統領がバイデン氏への政権移行業務の実施を容認したこと、欧州一部地域で新型コロナウイルス対策について緩和の動きが見られたこと。

(下落)

- ・ 2020年3月、新型コロナウイルスが世界的に感染拡大したこと、OPEC（石油輸出国機構）とロシアなど非加盟産油国の減産交渉決裂を受け原油価格が急落したこと。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に対する警戒感などから投資家のリスク回避姿勢が強まる中、米ドル安・円高、ユーロ安・円高となったこと。

- ・10月、米追加経済対策を巡る与野党合意への期待が後退したこと、欧州で新型コロナウイルスの新規感染者数が急増したこと、英国とEU（欧州連合）の通商交渉が難航したこと、新型コロナウイルスの感染再拡大を受け経済活動を再規制する動きが広まったこと、米追加経済対策の早期成立が遠のいたこと。

○投資環境

期中の世界株式市場は、新型コロナウイルスの感染拡大や各国の金融・財政政策の行方、米国の大統領選挙の行方などに左右される展開となりましたが、期を通じて上昇となりました。為替市場では、円は米ドルに対して上昇（円高）、ユーロに対して下落（円安）となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- (1) 組入銘柄の選定にあたっては、個別企業の調査・分析等に基づいたボトムアップアプローチにより、企業の質（高い投下資本利益率、財務健全性、経営陣の経営能力および高いブランド力や強固な販売網等の無形資産に基づく競争優位性等）、ESG[※]の観点等を勘案し、持続的な利益成長が期待できる銘柄を選定します。
※ESGとは、Environment（環境）、Social（社会）及びCorporate Governance（企業統治）の総称です。
- (2) ポートフォリオの構築にあたっては、時価総額および流動性が高い大型銘柄を中心とすることを基本とします。
- (3) 設定後のポートフォリオ構築においては、マイクロソフト、レキットベンキーザー・グループなどの株式を組み入れました。その後は、米国のオンライン取引所、工具メーカーなどの株式を新規購入しました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



◎今後の運用方針

当ファンドは、強力な無形資産や価格決定力、高い利益率を裏付けに企業価値を持続的に拡大することが期待される銘柄（＝高クオリティ企業）に集中投資を行ないます。高クオリティ企業への投資を行なうために、「ESG（環境・社会・企業統治）インテグレーション※¹」「エンゲージメント※²・議決権行使」を運用プロセスに組み入れています。さらに、「ネガティブ・スクリーニング※³」を加え、よりESG問題に配慮しつつ優れたパフォーマンス獲得を目指して、運用を行なっております。

※1 投資判断の中に、財務情報だけではなく、ESG情報といった非財務情報を織り込むこと。

※2 企業価値の持続的な成長の促進や企業価値を持続的に成長できるか判断するために、企業が抱える課題やその対策方法について、経営陣や社外取締役と建設的な対話を行うこと。

※3 特定のセクターを除外すること。

2020年以降はバリュエーション（投資価値評価）が割高な銘柄が上昇を牽引したこともあり、MSCIワールド指数の予想利益に基づく足元のPER（株価収益率）は20年前のITバブル期以来の高水準に達しましたが、この状況が続く可能性は低いと想定されます。しかし、高クオリティ企業は、価格決定力と継続的な売上により利益が安定しているため、今後想定される不安定な相場環境においても「安全な保険」のような特性を提供できると考えています。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年2月28日～2021年3月8日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 3 (3)	% 0.023 (0.023)	(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	14 (14)	0.123 (0.123)	(b) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	3 (3) (0)	0.023 (0.023) (0.000)	(c) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	20	0.169	
期中の平均基準価額は、11,075円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2020年2月28日～2021年3月8日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	アメリカ	百株 11,908 (303)	千米ドル 160,919 (-)	百株 1,619	千米ドル 16,548
	カナダ	55 (168)	千カナダドル 8,290 (-)	95 (74)	千カナダドル 640 (-)
	イギリス	7,247	千英ポンド 20,975	1,772	千英ポンド 3,792
国	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	2,133	21,985	14	133
	フランス	250	4,276	148	1,400
	イギリス	563	1,120	405	823
	香港	3,418	千香港ドル 27,154	36	千香港ドル 250

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

* ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2020年2月28日～2021年3月8日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	26,924,041千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	13,446,542千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.00

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2020年2月28日～2021年3月8日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 30,217	百万円 886	% 2.9	百万円 8,369	百万円 -	% -

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2021年3月8日現在)

外国株式

銘柄	株数	当期末		業種等
		評価額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	千米ドル	千円	
ABBOTT LABORATORIES	734	8,615	933,703	ヘルスケア機器・用品
ALPHABET INC-CL A	35	7,358	797,453	インタラクティブ・メディアおよびサービス
AMPHENOL CORP-CL A	606	3,734	404,731	電子装置・機器・部品
AUTOMATIC DATA PROCESS	490	8,749	948,148	情報技術サービス
BAXTER INTERNATIONAL INC.	1,225	9,568	1,036,906	ヘルスケア機器・用品
BECTON, DICKINSON	365	9,006	976,036	ヘルスケア機器・用品
CERNER CORP	563	3,963	429,572	ヘルスケア・テクノロジー
COCA COLA CO	446	2,267	245,709	飲料
DANAHER CORP	353	7,725	837,158	ヘルスケア機器・用品
FACTSET RESEARCH SYSTEMS INC	34	1,088	118,001	資本市場
FIDELITY NATIONAL INFORMATION	348	4,924	533,639	情報技術サービス
INTERCONTINENTAL EXCHANGE INC	490	5,635	610,667	資本市場
MICROSOFT CORP	728	16,867	1,827,898	ソフトウェア
MOODY'S CORP	47	1,368	148,304	資本市場
NIKE INC-B	175	2,341	253,718	繊維・アパレル・贅沢品
PROCTER & GAMBLE CO	746	9,409	1,019,756	家庭用品
ROPER TECHNOLOGIES INC	112	4,233	458,734	コングロマリット
STANLEY BLACK & DECKER INC	257	4,778	517,795	機械
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	551	6,656	721,358	半導体・半導体製造装置
TEXAS INSTRUMENTS INC	211	3,550	384,795	半導体・半導体製造装置
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	144	6,477	701,953	ライフサイエンス・ツール/サービス
VISA INC-CLASS A SHARES	598	12,897	1,397,744	情報技術サービス
ZOETIS INC	151	2,200	238,515	医薬品
ACCENTURE PLC-CL A	413	10,317	1,118,079	情報技術サービス
MEDTRONIC PLC	757	8,957	970,684	ヘルスケア機器・用品
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	10,592 25	162,693 -	17,631,065 <70.6%>
(カナダ)		千カナダドル		
CONSTELLATION SOFTWARE INC	54	9,154	785,616	ソフトウェア
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	54 1	9,154 -	785,616 <3.1%>
(イギリス)		千英ポンド		
PRUDENTIAL PLC	1,873	2,754	413,767	保険
EXPERIAN PLC	248	589	88,516	専門サービス
RECKITT BENCKISER GROUP PLC	1,588	9,962	1,496,428	家庭用品
RELX PLC	1,764	2,996	450,037	専門サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	5,475 4	16,303 -	2,448,749 <9.8%>
(ユーロ…ドイツ)		千ユーロ		
SAP SE	935	9,519	1,230,721	ソフトウェア
HENKEL AG & CO KGAA VORZUG	1,018	8,691	1,123,784	家庭用品
DEUTSCHE BOERSE AG	165	2,177	281,588	資本市場
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,119 3	20,388 -	2,636,093 <10.5%>
(ユーロ…フランス)				
LOREAL-ORD	101	3,134	405,196	パーソナル用品
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	101 1	3,134 -	405,196 <1.6%>

銘	柄	株数	当 期 末		業 種 等	
			評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(ユーロ…イギリス)		百株	千ユーロ	千円	専門サービス	
RELX PLC		157	310	40,196		
小	計	株数・金額 銘柄数<比率>	157 1	310 —		40,196 <0.2%>
ユ ー ロ 計		株数・金額 銘柄数<比率>	2,378 5	23,833 —	3,081,487 <12.3%>	
(香港)			千香港ドル		保険	
AIA GROUP LTD		3,382	33,177	463,156		
小	計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,382 1	33,177 —		463,156 <1.9%>
合		計	株数・金額 銘柄数<比率>	21,882 36	— —	24,410,075 <97.7%>

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2021年3月8日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	24,410,075	95.4
コール・ローン等、その他	1,170,467	4.6
投資信託財産総額	25,580,542	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 当期末における外貨建て純資産 (24,989,828千円) の投資信託財産総額 (25,580,542千円) に対する比率は97.7%です。

* 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=108.37円、1カナダドル=85.82円、1英ポンド=150.20円、1ユーロ=129.29円、1香港ドル=13.96円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年3月8日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	25,903,652,219 円
コール・ローン等	1,100,310,405
株式(評価額)	24,410,075,347
未収入金	385,327,596
未取配当金	7,938,871
(B) 負債	913,210,873
未払金	347,580,662
未払解約金	565,630,000
未払利息	211
(C) 純資産総額(A-B)	24,990,441,346
元本	20,080,127,781
次期繰越損益金	4,910,313,565
(D) 受益権総口数	20,080,127,781口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,445円

(注) 期首元本額は2,959,000,000円、期中追加設定元本額は21,268,202,657円、期中一部解約元本額は4,147,074,876円、1口当たり純資産額は1,2445円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
 ・モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド(為替ヘッジあり) 11,452,037,843円
 ・モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド(為替ヘッジなし) 8,628,089,938円

○損益の状況 (2020年2月28日～2021年3月8日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	141,706,231 円
受取配当金	141,797,898
受取利息	8,028
支払利息	△ 99,695
(B) 有価証券売買損益	2,696,949,305
売買益	3,320,091,928
売買損	△ 623,142,623
(C) 保管費用等	△ 2,929,190
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,835,726,346
(E) 追加信託差損益金	2,729,497,343
(F) 解約差損益金	△ 654,910,124
(G) 計(D+E+F)	4,910,313,565
次期繰越損益金(G)	4,910,313,565

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。